



Welcome to Windy City CHICAGO

シカゴ双葉会日本語学校 全日校

校長 安土憲彦



「ようこそ、風のまちシカゴへ」

アメリカ第3の都市シカゴは、中西部イリノイ州にあり、東側には広大なミシガン湖があるととても美しいまちです。高層ビルが立ち並ぶダウンタウンから車で約1時間のところにある本校は、朝から美しい鳴き声の鳥たちや、ウサギやリスなどの小動物が顔を出すアーリントンハイツという静かな住宅地にあります。

本校には幼稚園9名、小学部57名、中学部19名（2026.4.1現在）が在籍しており、シカゴの抜けるような青空と、緑豊かな芝生に囲まれた宇宙基地のようなユニークな形の校舎で、毎日楽しく元気いっぱい学んでいます。10人前後の少ない人数で行われる個に応じたきめ細やかな指導と、海外子女教育振興財団の指定を受け研究を続けている探究学習と、特色ある英語教育を通したグローバルな視野を身につけた子どもの育成が本校の特長です。この学校で学んだ力は、これからの不確実的な時代を生きる力として、将来につながると信じています。

本校ならではの行事として、小学部の修学旅行（ワシントンDC方面）、中学部の修学旅行（ボストン方面）、現地インストラクターによる水泳教室・スケート教室、一泊二日のスキー教室、シカゴシンフォニー交響楽団による音楽鑑賞、演劇鑑賞などがあります。また、現地校との交流会やノースウエスタン大学等への訪問などがあり、秋に行われる学習発表会（双葉フェスティバル）では、今まで取り組んだ成果や学んだことを発表します。

本校の英語教育は、ネイティブスピーカーによる習熟度別学習です。小学部低学年からそれぞれの段階に応じてクラスを編成し、少人数で確実に表現力や文章力が身につくようカリキュラムを編成しています。また、アメリカの歴史や文化に触れるハロウィンやクリスマスの行事では英語科の先生から様々なことを学ぶ機会を大切にしています。

日本と同じ教科書を使い日本の同等の教育課程を編成していますので、日本からの転入や逆に転学も容易です。一人一台のタブレット端末を授業や家庭学習で活用しながら、プレゼンテーションを行ったり、友だちと協働しながら意見をまとめたりしています。また、百人一首大会を開催したり日本の伝統的な踊りなどを体験させたりすることで、海外に住んでいるからこそ大切にしたい日本文化に触れる機会も設けています。

本校の子どもたちは、とてもキラキラとした目をしています。それはこの自然豊かなシカゴのまちのおかげかもしれません。本校が大切にしてきた教育の成果かもしれません。このキラキラとした子どもたちの目が、これから何を見て、深く自分で考え、みんなの幸せのためにどのように行動していくのか楽しみでなりません。

広い世界で、大きなアメリカで、Windy City冬のシカゴはミシガン湖から吹きつける風が冷たいけれど、ここで出会った仲間との絆は一生の宝物。

また、この機会に、シカゴの歴史や文化について学びたいという方にも、ぜひご参加ください。

シカゴといえば

シカゴ市は人口約272万人。周辺地域も含めた都市圏は人口約941万人（2024年）大阪市と姉妹都市提携を結んでおり、2023年に提携締結50周年を迎えました。街の東側には琵琶湖の86倍ほどの面積のあるミシガン湖があります。8本の滑走路を持ち乗客数世界8位のシカゴ・オヘア空港は、学校から車で30分の位置にあり、航空物流、大陸の東西を結ぶ道路や鉄道など、陸運網の結節点になっています。市内には、ユナイテッド航空やモトローラ通信、マクドナルドなどの本社があり、金融先物や商品先物は世界の相場動向に大きな影響力があり、ベンチャーキャピタル投資も盛んにおこなわれています。



世界的にも有名なシカゴ交響楽団やアメリカ3大美術館でもあるシカゴ美術館があり、日本人選手も活躍しているシカゴカブス（MLB球団がシカゴ市内にはあります。マスターズ」や「逃亡者」などの映画にはダウさん使われていました。



本校のあるアーリントンハイツは、イリノイ州クック郡にある村で、人口は7万7千人余り、シカゴの北西40キロメートルに位置しています。緑が多く静かな住宅地で治安もよく、学校周辺にはウサギやリスなどの小動物が顔を出し、春になるとグース（カナダ雁）が親子連れで歩いている姿が見られます。



本校の歴史

昭和53(1978)年、全校児童生徒101名でシカゴ郊外にしました。正式名称は「シカゴ双葉会日本語学校 全50周年を迎え、本校の経営母体はJCCCシカゴ日本商工会で、その教育支援事業「双葉会」が学校運営委員会として学校経営管理を担っています。その後ナイルズに移転し、1988年に現在のアーリントンハイツに移転しました。本校は世界にある在外教育施設では珍しく、1966年に開校した補習授業校（土曜校）同じ校舎を使用しています。

あるスコークー村に開校日校」です。2年後に開校

本校には様々なお客様が来校されます。最近ではシカゴカブスの今永選手、過去にはホワイトソックスにおられた井口選手、両チームで活躍された福留選手が来られ、また宇宙飛行士の若田光一さんや星出彰彦さんから貴重なお話を聞く機会がありました。世界選手権で優勝経験のある太鼓演奏者や、世界的バイオリン奏者である田島奈央子さんが来校されたときには、児童生徒が演奏を楽しみました。他にもサッカー日本代表選手やフィギアスケート代表選手、芸能関係者などが来られています。

